

## 厚生労働大臣表彰（薬事功労）選考基準

年齢５５歳以上であり、原則として都道府県知事の表彰を受けた者（知事表彰制度のない都道府県にあつては、知事感謝状を受けた者）であり、薬事関係事業（薬務行政を含む）の従事年数が通算して２５年以上（但し、次の第３号に該当する者については「１０年以上」とする）であつて次の各号に該当する者。

１．原則として薬事関係団体の役員歴が通算して次の年数以上であること。

団体の種類	A 会長・副会長歴 のある者	B 会長・副会長歴 のない者
（１）全国を地域とする団体	１０年以上	１２年以上
（２）ブロックを地域とする団体	１２年以上	１４年以上
（３）都道府県を地域とする団体	１４年以上	１６年以上
（４）県内ブロックを地域とする団体	１６年以上	１８年以上
<p><u>注）団体役員とは、理事以上の役職をいう。例えば理事、常務理事、専務理事、副理事長、理事長、会長、副会長等をいう。</u></p> <p><u>従つて、監事、評議員、代議員、委員、相談役、顧問等は含まない。</u></p> <p><u>（理事制のない団体監事であつて、理事相当と認められる場合は役員とみなす。）</u></p>		

上部団体の役員期間が全役員期間の１／２以上ある場合は、当該全役員期間を上部団体の期間として取り扱うことができる。ただし、重複している期間は除かれる。

２．都道府県薬事審議会委員の経歴が１０年以上ある者。

３．発明、発見その他特殊な業績のある者であつて、審査委員会が適当と認めた者。